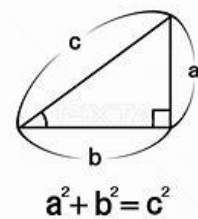
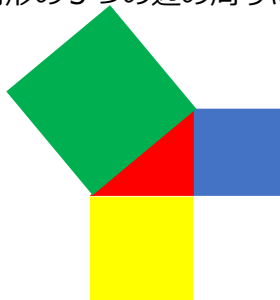


前回（第1号）では、数独（すうどく）を紹介しました。もっと数独の問題を出したいところですが、いろいろなパズルを紹介したいため、今回は「**三平方の定理（さんへいほうのていり）**」を紹介します。別名「**ピタゴラスの定理**」とも呼ばれます。ピタゴラスさんは、今から2000年以上前の時代を生きていた古代ギリシャの数学者・哲学者です。

<三平方の定理とは> (中学3年生の数学でならいます)

- ① 「**直角三角形の3つの辺の長さ**」に関する発見です。
- ② 直角三角形の3つの辺の周りに正方形（青・黄・緑）をかきます。

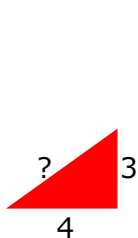


- ③ このとき、**（青の正方形の面積）+（黄色の正方形の面積）=（緑の正方形の面積）**



となります。これが、三平方の定理です。

- ④ 例えば、三角形の2つ辺の長さが図のように、3 cmと4 cmとわかっているとき、この三平方の定理を使うと、残りの1つの辺の長さ（下の図の?）がわかります！



青の正方形の面積は 3×3で9です。



黄色の正方形の面積は 4×4で16です。

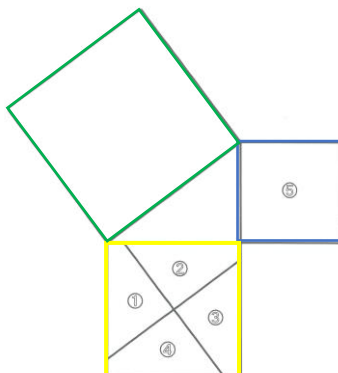


緑の正方形の面積は 三平方の定理を使うと  
9+16で25とわかります。

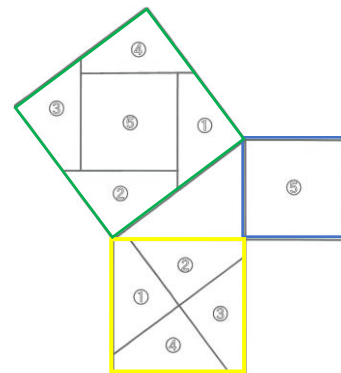
つまり、?は5cmとわかります！（25は5×5だから）

ここでパズルの例題です。青の正方形と黄色の正方形の中を図のように5つのピースに分けます。このピースを緑の正方形の中にぴったりはめこむというパズルです。

問題

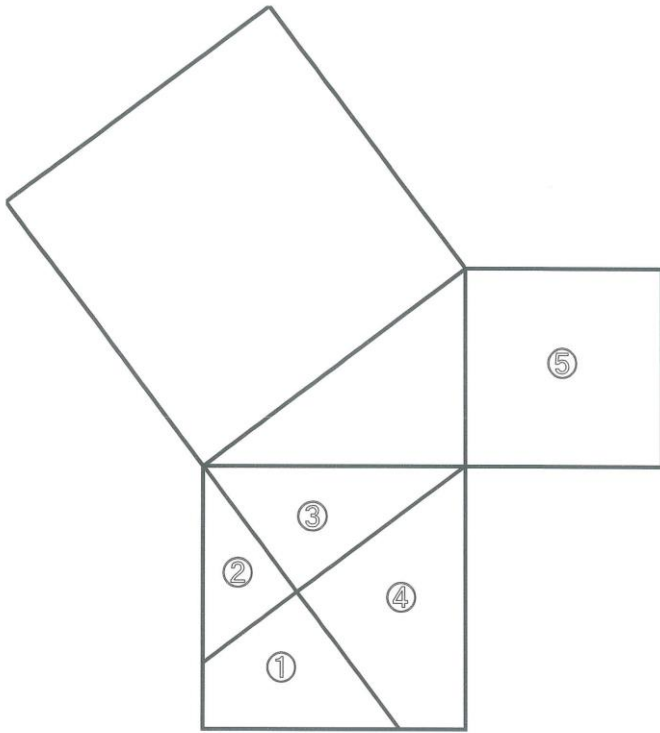


解答

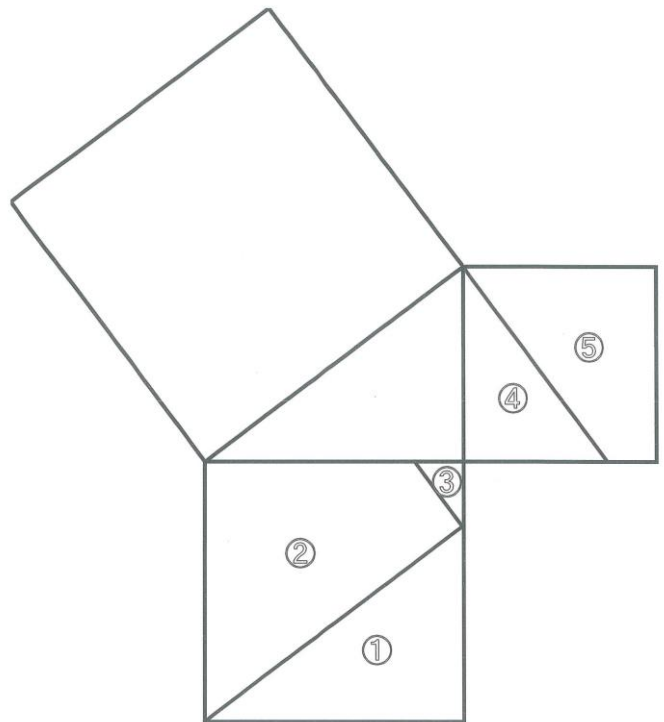


裏面は問題です。ぜひ挑戦してみてください。別紙は、ピースを切り取る用です。そちらを切り取り、この紙に並べてみてください。

<問題1>



<問題2>



前回の答え

<初級>

5	8	2	3	6	7	4	9	1
9	7	4	5	2	1	8	3	6
1	3	6	9	4	8	7	2	5
2	6	3	4	1	5	9	8	7
4	1	8	7	9	6	2	5	3
7	5	9	8	3	2	1	6	4
8	2	7	1	5	3	6	4	9
3	4	1	6	8	9	5	7	2
6	9	5	2	7	4	3	1	8

<中級>

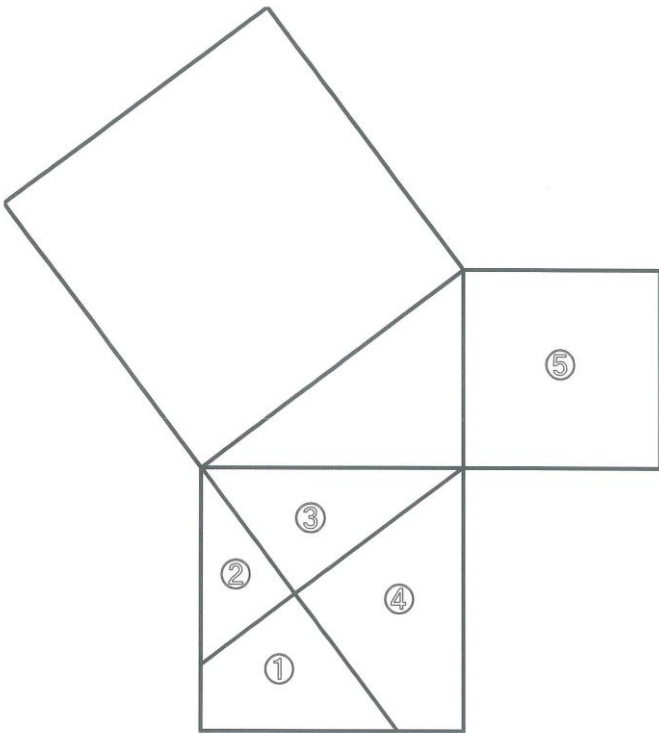
8	3	4	7	1	6	9	5	2
5	6	1	8	2	9	3	7	4
7	2	9	5	4	3	8	1	6
3	4	5	9	6	8	7	2	1
2	7	6	4	3	1	5	9	8
9	1	8	2	7	5	6	4	3
1	8	7	6	9	4	2	3	5
6	9	3	1	5	2	4	8	7
4	5	2	3	8	7	1	6	9

<上級>

3	7	2	1	4	5	9	6	8
4	8	6	2	9	7	5	3	1
5	9	1	8	3	6	7	4	2
8	5	7	6	1	9	3	2	4
6	2	4	7	8	4	1	9	5
1	4	9	5	2	3	8	7	6
2	3	5	9	6	1	4	8	7
7	6	4	3	5	8	2	1	9
9	1	8	4	7	2	6	5	3

※解答は、次号（第3号）に掲載いたします。

<問題1>



<問題2>

